

学校教育目標

心身ともに健全で知性にあふれ情操豊かな青少年を育成する。

地域社会と連携した学習環境を基にして社会で生き抜く力を身につける。

校訓

友情・・・仲間との絆を深め、社会の中での連携による力を発揮する

努力・・・自己の目標達成を目指して、切磋琢磨を続ける習慣を身につける

勝利・・・成功体験を積み重ね、自信をもって難局を突破する

学校教育目標の設定にあたって

本校が広域通信制の高等学校として発足しようとしたとき、その創設の趣旨は確固たるものがあつた。すなわち、個々それぞれに様々な才能をもっていながら、自信を持たずに社会の中で活躍できない子どもたちのために、何とか手助けができないかという、強い思いである。

「高校に行きたかったけど行けなかった」、「中学生のときにひきこもりで、他人とうまくやっていく自信がない」、「個人的な事情で働きながら高校だけは卒業したい」、「光る才能があり、他の場所で活躍しながら高校卒業を目指す」など、近年、高等学校に対するニーズが様々に変化している。そのさまざまなニーズに応えることができるのが広域通信制高等学校である。

本校は、雄大な太平洋を臨む南房総にあり、自然豊かで温暖な地に立地している。本校には、一人ひとりに合わせてそれぞれのペースで、「できる事から」着実に学びながら、「体験学習などの体験を経験に変えて学ぶ力」、「仲間を尊重し、自分を理解するとともに、他人に理解してもらおう力」、「小さい成功体験を積み重ねて得られる自信」などが育まれる。さらに、地域社会と協力し、社会とのつながりを学び、「社会に出てひとりの大人として通用する大人力」を学ぶ環境がある。また、その環境をより充実させていく地域の温かい支援が期待できる。生徒個々の夢をかなえるために、「社会で生き抜く力」を身につけて、さらに次へのステップに大きく踏み出すことを念頭に置いた教育を目指すために、この学校教育目標を設定した。

さらに、「社会で生き抜く力」を身につけることを具現化するために、学校教育目標のもとに「友情」「努力」「勝利」の校訓を掲げた。

「友情」には、「仲間との絆を深め、社会の中での連携による力を発揮する」の意を、「努力」には、「自己の目標達成を目指して、切磋琢磨を続ける習慣を身につける」の意を、「勝利」には、「成功体験を積み重ね、自信をもって難局を突破する」の意を端的な言葉の中に込めて、本校の全職員が学校教育目標の達成に向けて一丸となるための、生徒が目指すべき「具体的な行動目標」の形で表現した。これによって、生活指導、学習指導、行事での指導などを始めとした日常のすべての指導の中で、生徒の目指す姿を頭に描きながら指導に当たれるように定めたのである。

学校教育目標の達成、および校訓の具現にあたっては、生徒たちの実態を踏まえ、時代とともに変化する社会のニーズを把握しながら、「生徒たちの笑顔」を思い浮かべながら、職員一人ひとりが誠意を持って全力で「生徒の成長のため」の指導にあたることを願っている。

スクールミッション

多様な個性を持つ生徒一人一人が、

- ・心身ともに健全で知性および情操豊かな人間となり、「社会で生き抜く力」を身につけていくことを支援する。
- ・地域社会の中でコミュニケーション能力を育み、「社会で生き抜く力」を身につけられる学習環境を構築する。

スクールポリシー

①育成を目指す資質・能力（グラデュエーションポリシー）

スクールミッションに基づき、以下のような生徒を育てます。

- 1 「社会で生き抜く」ための確かな知性、豊かな情操を備えた生徒を育てます。
- 2 自らの選択に責任を持ち、自信を持って目標に向かう生徒を育てます。
- 3 人々の多様な個性を尊重し、共に生きる優しさを持った生徒を育てます。
- 4 様々な人と交流し、自らの活力とする意欲を持った生徒を育てます。
- 5 新しいことに挑戦し積極的に取り組む意欲、勇気を持った生徒を育てます。

②教育課程に関する方針（カリキュラムポリシー）

目指す資質・能力を備えた生徒を育てるために、以下のような教育方針で臨みます。

- 1 個々の生徒の最適な学びに応える多様な科目を準備します。
- 2 計画的な学習を促すためのレポート学習を充実させます。
- 3 アクティブラーニングによって人間性を養う集中スクーリングを実施します。
- 4 多彩な社会的活動を実施し、特別活動として認定します。
- 5 Society5.0時代に対応するICT教育を行います。

③入学者の受け入れ（アドミッションポリシー）

目指す資質・能力を備えた生徒育成を目指し、以下のような生徒を受け入れます。

- 1 通信制の特色を活かし、高校を卒業しようとする意志を持った生徒を受け入れます。
- 2 自らの能力、才能を活かし、時間を有効に活用しようとする生徒を受け入れます。
- 3 自らの住む地域社会の活動に関心を持とうとする生徒を受け入れます。
- 4 自分も他人も大切に、多様な個性を認めようとする生徒を受け入れます。
- 5 社会の一員として、ルールを守り行動しようとする生徒を受け入れます。

「スクールミッションの再定義」と「スクールポリシーの策定」にあたって

令和2年11月13日「第18回特別部会資料3-2」にあげられた高等学校改革の方向性にてらし、本校の実態に鑑みて、

- ・地域社会との連携・協働
- ・通信教育の質保証
- ・通信制課程における多様な学習ニーズへの対応

を今後の重点目標の柱とすることを再確認した結果、これらが本校創設時より謳ってきた学校教育目標とよく合致していると考えた。

「スクールミッションの再定義」は今回の高等学校改革の一つである。その目的は、生徒・保護者および一般社会にまで学校教育目標の理解を広め、生徒・保護者および地域が学校と一体となって生徒の教育活動をより効果的に進めるためである。すなわち、学校教育目標をキャッチフレーズ化して、分かりやすく、より印象深くするものである。その上で、学校教育目標の2つの文章の趣旨はそのまま生かし、生徒を「多様な個性を持つ生徒一人一人」と表現し、これを主語として、生徒たちが目指すべき成長の方向へ学校全体で「支援する」、「構築する」と表現することで、保護者や地域へアピールする文言とした。

また、スクールポリシーの策定においては、スクールミッションの具現化を目指して、指定された3つのポリシーそれぞれにおいて、

- ・「グラデュエーションポリシー」では、地域社会との連携・協働
- ・「カリキュラムポリシー」では、通信教育の質保証
- ・「アドミッションポリシー」では、通信制課程における多様なニーズへの対応

のキーワードから求められるポリシーをそれぞれ5点に絞り、上記のようにまとめた。